

授業改善推進プラン〈総合的な学習の時間〉

1 指導目標

- ・生徒の発達段階や地域の実態をふまえ、自ら課題を見つけ、学び、考え、表現し、主体的に判断しながら、課題を解決する力を育成する。
- ・「人権・伝統・文化・福祉・健康・環境」を総合的に取り組ませ、自然体験、ボランティア活動、見学や調査、発表や討論、異年齢集団との学習、地域の教育資源活用、交流教育などの体験的学習を意図的に活用する。

2 平成25年度における考察と課題

- ・職場体験を5日間にして、事業所の拡大を図っている。生徒は意欲的に取り組み、学ぶうとしている。過去、多くの受け入れ先事業所からも、良い評価をいただいたので今年度も継続していきたい。
- ・資料を活用し、学ぶことに意欲的に多くの生徒が取り組んできた。調べ学習の個人新聞作りでも、自分が学んだこと、伝えたいことなどを工夫をしてまとめてきた。しかし、事前の調べ活動をもう少し掘り下げられたら良いものになると思われる作品もあった。

3 平成26年度へ向けての改善のポイント

- ・職場体験など外部で活動する場合、**生徒の言葉遣い、礼法マナーや取り組み姿勢の指導をより念入りに行う。**
- ・進路学習は、**研究指定校となり、昨年来のキャリア教育の考えを取り入れ、職業調べ・職場体験をきっかけとして、社会に対する関心や自己の生き方について考えさせていく。**
- ・各教科を含め、様々な発表活動や調べ学習を通して、自分の意見や考えを発表し、表現力を付ける指導を行う。
- ・生徒の活動を参観していただく保護者や地域の方を増やし、より学校活動への理解と協力や参加をいただく。

4 評価の工夫

観点項目	観点項目の趣旨	おもな評価内容
意欲・態度	課題に対して関心をもって臨み、自主的に参加することができたか。	提出物・取り組みへの姿勢・発表
知識・理解・技能	取り組みを通して、課題を探究し、論理的に整理する力がついたか。 自分の考えや思いを表現し、発表する力がついたか。	提出物・観察・発表